



報道関係者各位

2024年8月22日

ストライプジャパン株式会社

Stripe、Gartner (ガートナー社) によるレポート Magic Quadrant for Recurring Billing Applications でリーダー評価を獲得

～請求システムのグローバル展開において最も優れたベンダー企業と評価～

企業向け経済インフラ・プラットフォームである Stripe は、Stripe Billing が Gartner (ガートナー社) によるレポート「Magic Quadrant for Recurring Billing Applications ([マジック・クアドラント](#) 定期請求アプリケーション部門)」でリーダー評価を獲得したことを発表します。Stripe Billing は、Stripe の決済スイートと同様に、[業界アナリスト](#)から [リーダーとして評価](#)された2つ目のプロダクトとなりました。

Figure 1: Magic Quadrant for Recurring Billing Applications



Gartner



2018年にリリースされた [Stripe Billing](#) は、30万社以上の企業が顧客への請求管理に利用しているソフトウェアです。請求システムは、いくらを誰に、いつ請求するか、といった複雑な要素を管理する、多くの企業にとって決済と同様に重要な機能です。

Stripe Billing は、企業が財務処理全体を効率的に管理できるように設計されており、請求プランの設定や、料金体系のカスタマイズ、決済額の計算、次回の請求書の確認、割引の適用、決済リマインダーの送信、決済のトラッキングなどを簡単に行うことができます。Stripe Billing は、売上ベースの契約や、階層型価格設定、使用量ベースの請求など、さまざまな請求モデルに対応しており、最新のグローバルな請求システムを簡単に運用することが可能です。この度、初めて Stripe Billing が Gartner の「Magic Quadrant for Recurring Billing Applications (マジック・クアドラント 定期請求アプリケーション部門)」で評価を受けたほか、Stripe は「実行能力 (Ability to Execute)」と「ビジョンの完全性 (Completeness of Vision)」において評価を獲得しました。本レポートでは、Stripe Billing のエンタープライズ向けの新機能や使用量に応じた請求機能の [リリース](#)、さらにテクノロジーやヘルスケア、メディア、教育など、多様な業界の B2B および B2C 企業での採用が加速していることが、最近の勢いとして取り上げられています。

Stripe Billing は、特に先進的な AI 企業間で急速に採用が進んでおり、これらの企業は初期費用が高く、迅速に収益化を実現する必要があります。実際に、OpenAI や Anthropic、MidJourney など、多くの AI 企業が Stripe Billing を利用して収益を伸ばし、顧客の離脱を低減しています。

また、世界中の企業が Stripe Billing を利用し、顧客との何億ものサブスクリプションを一括管理しています。フランスのテレビ放送ネットワークである [TF1](#) や、日本の交通・不動産・サービス事業を展開する [東急グループ](#)、オーストラリアのチームコラボレーション向けソフトウェアプラットフォームである [Atlassian](#)、ノルウェーの大手ストリーミングサービスである [TV 2](#) などが事例として挙げられます。

従来、企業が Stripe Billing を使用するためには、決済も Stripe で処理する必要がありましたが、Stripe は複数のプロセッサを利用する大手企業により良いサービスを提供するため、2024年4月に他の決済サービスプロバイダーで決済を処理している企業も Stripe Billing を利用できるようになると [発表](#)しました。すでにヨーロッパでは、Stripe ユーザーは [PayPal で処理されたサブスクリプション](#) を Stripe Billing で管理することができます。



Stripe の最高収益責任者である Eileen O'Mara (アイリーン・オマーラ) は次のように述べています。

「請求システムは、常にユーザー企業のニーズに適応していくべきであり、この度 Gartner が Stripe Billing をリーダーとして評価したことは、Stripe ユーザーの収益成長を支援し、様々なインターネットを活用したビジネスモデルをサポートするというコミットメントを裏付けるものだと受けとめています。」

Stripe Billing は、請求処理、請求書発行、税金対応、収益認識、レポート作成など、収益サイクル全体を管理する、[収益と財務処理を自動化する製品スイート](#) (Revenue and Finance Automation: RFA) の一部です。このソフトウェアスイートは、Atlassian や GitHub、Figma、Duolingo など、数十万もの企業に使用されており、Stripe の RFA は、今後数ヶ月で年間稼働額 5 億ドルを超える見込みです。

Gartner のレポート全文は、[こちら](#)をご覧ください

免責事項：

Gartner は、リサーチの発行物に掲載された特定のベンダー、製品またはサービスを推奨するものではありません。また、最高の評価又はその他の評価を得たベンダーのみを選択するようテクノロジーユーザーに助言するものではありません。Gartner のリサーチの発行物は、Gartner のリサーチ部門の見解を表したものであり、事実を表現したものではありません。Gartner は、明示または黙示を問わず、本リサーチの商品性や特定目的への適合性を含め、一切の保証を行うものではありません。

#####

Stripe について

Stripe は、企業向けのファイナンシャル インフラを構築する会社です。スタートアップから世界的な大企業まで数百万社が Stripe の決済プラットフォームを導入して、決済処理のみならずリアルタイムで資金をプログラム化し、収益を成長させ、新規事業展開を加速させています。サンフランシ



スコとダブリンに本社を持つ Stripe は、インターネットの GDP を拡大することを使命に掲げています。

詳しくは <https://stripe.com/jp> をご覧ください。